

教材の活用場面

活用した教材	GIGA ワークブックとうきょう アドバンスト「AI と探究的な学び」		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/giga_workbook/sns_tokyo_note_advanced_tsukamaeni_katsuyouskill2.html		
STEP	STEP 5	領域	使う前に
学校名	都立南大沢学園	校種	特別支援学校
学年	第2学年	教科等	キャリアガイダンス
単元名	校外学習事前学習		
活用の概要	文章生成 AI を使って、校外学習のクラス別活動を計画する。		

活用の様子

【ポイント1】文章生成 AI の特性について各自で考える。



GIGA ワークブックとうきょう アドバンストの「AI と探究的な学び」を使用し、各自で文章生成 AI の特性について各自で考え、インターネット検索との違いを考える。

【ポイント2】自分が考えた文章生成 AI の特性を、班ごとに話し合う。



「AI と探究的な学び」の画面を見せ合い、自分が考えた文章生成 AI の特性を、班ごとに話し合うことで、様々な視点から生成 AI の特性について考える。

【ポイント3】班で話し合った内容を、クラス全体で共有する。



班で話し合った内容をクラス全体で共有することで、文章生成 AI の特性についての考えを深める。そして、校外学習について調べるための方法の一つとする。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・児童の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●文章生成 AI のデモンストレーションを見る。 	<p>○文章生成 AI とインターネット検索との違いを分かりやすくする。</p> <p>■都立学校生成 AI 教員が実際に使用して見せた。</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●文章生成 AI の特性について考える。 個人 ↓ 班 ↓ クラス全体 ●文章生成 AI の特性について知り、校外学習について調べる手立てとする。 	<p>■教材 GIGA ワークブックとうきょうアドバンスト「AI と探究的な学び」</p> <p>○一人一台端末の習熟度の違いを踏まえ、教材の URL の提示には二次元コードを使用した。</p> <p>○文章生成を使用すると、多くの情報をまとめることができるが、求めた答えでない時、聞き方を工夫しないと伝えないことを伝える。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●文章生成 AI を使ってみた感想をまとめる。 <p>感想の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えがすぐきておどろいた。 ・答えが長すぎたり、多すぎたりもした。 ・便利。 	<p>☆文章生成 AI を使うことができたか。</p> <p>☆効果的な活用ができたか。</p>